

# 市長への手紙から

市民の皆さんが日々「思っているまちづくりへの意見やアイデアを、直接市長に伝えることのできる「市長への手紙」。7～8月にかけて、161通、277件のご意見をいただきました。その中から、主なご意見をお知らせします。



巡回バスを走らせてください。



公共交通については、平成25年3月に市民・公共交通事業者・学識経験者などで構成される「蒲郡市地域公共交通会議」を立ち上げ、より利用しやすい総合的な公共交通体系を構築するため、26年3月「蒲郡市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

既存の路線バスについては、より市民ニーズを反映したルートやダイヤを考えるため、「蒲郡市地域バス協議会」が大塚、三谷など東側地区から市民病院へ行きやすくなるような路線を検討しています。

現在、形原をモデル地区とし

て、公共交通空白地を解消するための支線バスを、来年4月から運行するため準備をしています。モデル地区での検証を他の地域にも生かし、公共交通の充実を進めていきます。

## 形原の支線バス実証運行

### 運行スケジュール

- ・平成27年4月開始
- ・週3日、1日6便
- ・右回り・左回り
- ・午前8時20分～午後4時30分頃まで

### 運賃

- 大人（中学生以上） 100円
- 小学生 50円
- ※未就学児は無料
- 10人乗りのジャンボタクシーサイズです。どなたでもご利用できます。



未来の希望である子どもたちを災害から守るための対応はできているのか。



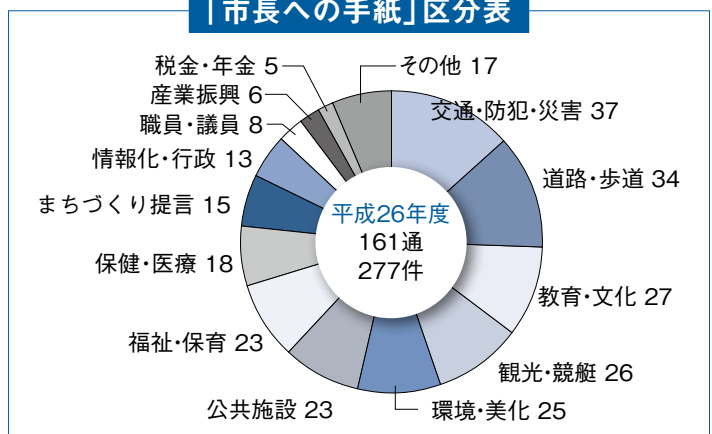
子どもたちのための防災・減災対策は、大変重要であると考えています。建物の耐震化工事については、すべての保育園ならびに小中学校で完了しています。保育園や幼稚園へ出向き、防災教室



港区防災訓練では、実際に「かまどベンチ」を使って炊き出しを行いました。

企画広報課 ☎66♦1145

## 「市長への手紙」区分表



などを行い、幼少期から、防災に関する知識の向上を図っていき、今後も引き続き行っていきます。

アピタ横の公園、「港町西公園」は、防災上の観点から「防災あずまや」、「かまどベンチ」といった災害発生時に活用できる機能を兼ね備えた建物・ベンチを設置したのとなつていきます。

災害時における子どもたちの安全を確保するために、行政・家庭・地域・学校などが一体となつて、より総合的な安全対策を進めていきます。